

今年度の学びの展開について(新型コロナウイルス感染症を受けて)

創意工夫による学びの展開

- 新型コロナウイルス感染症とともに生きていく社会を作るためには、感染リスクはゼロにはならないということを受け入れつつ、感染レベルを可能な限り低減させながら学校教育活動を継続していくことが重要。
- 学校において、「三つの密」を徹底的に避ける、「マスク着用」および「手洗いなどの手指衛生」など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」を導入し、感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保障していく。
- 感染者が確認された場合には、ただちに地域一律に一斉の臨時休業を行うのではなく、感染者および濃厚接触者を出席停止としたり、分散登校を取り入れたりしつつ、学校内で感染が広がっている可能性についての疫学的な評価を踏まえた臨時休業についての判断を行い学びを保障していく。

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスク高い教科活動 (家庭科「近距離での調理」や保健体育科「接触を伴う活動」など)	部活動
レベル3 「特定警戒都道府県」に相当する感染状況である地域	できるだけ2m程度(最低1m)	行わない	個人や少人数でのリスクの低い活動で短時間での活動に限定
レベル2 「感染拡大注意都道府県」に相当する感染状況である地域、「感染観察都道府県」に相当する地域のうち、感染経路不明な感染者が一定程度存在していたことなどで当面の間注意を要する地域	できるだけ2m程度(最低1m)	リスクの低い活動から徐々に実施	リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1 「感染観察都道府県」に相当する感染状況である地域のうち、レベル2にあてはまらない	1mを目安に 学級内で最大限の間隔をとること	十分な感染対策を行った上で実施	十分な感染対策を行った上で実施

## 今年度の学びの展開について(新型コロナウイルス感染症を受けて)

### 創意工夫による学びの展開

#### 県立高等学校

- 教員が作成した動画配信の実施(県立高校30校)
- オンライン学習により知識の定着は図れるが、主体的、対話的で深い学びにいかにつなげるかが課題であり、学校再開後、各種セミナーを実施し、課題解決力を育成
- 家庭での学習と学校での学習の連携を充実させることで、深い学びの実現に向けたICT活用によるオンライン学習の研究と研究成果の共有
- 授業動画を配信した指導や同時双方向型のオンラインでの指導を組み合わせ、双方の長所を生かした新しい学びを研究
- 感染のリスクを下げつつ、生徒の主体的、対話的で深い学びにつながる授業となるよう、各校での創意工夫の共有
- オンライン指導に対する研修・環境整備

#### 県立特別支援学校

- 教員が作成した授業動画の配信や学習用DVDの授業での活用
- 医療的ケアが必要な児童生徒や基礎疾患のある児童生徒等は、登校方法や指導内容について特段の配慮<訪問対応、ICT活用>
- 児童生徒等の障害の状況等により、密接な接触が避けられないが、認知面の発達段階に応じて感染リスクを下げるための手立てを行いつつ各学習を推進
- 「自立活動」では、児童生徒等が受診している病院等の主治医やPT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等と十分に連携の上、指導計画や指導方法の見直しと、一層の感染症対策を講じた上で柔軟に対応
- オンライン指導に対する研修・環境整備(令和2年度特別支援教育プロジェクト研究「ICT活用力を高める実践的な研究」成果の各校への情報発信・活用推進)

#### 小、中学校

- 教員が作成した動画配信の実施(授業動画)
- 家庭での学習と学校での学習の連携を充実させることで、深い学びの実現に向けたICT活用によるオンライン学習の研究と研究成果の共有(例:教科書QRコードによる予習・復習)
- ICTを活用した外国人児童生徒への母語支援の充実
- 感染のリスクを下げつつ、生徒の主体的、対話的で深い学びにつながる授業となるよう、各校での創意工夫の共有
- 少人数指導での学習形態による効果的な取組
- 年間指導内容の精選と組立による授業改善
- オンラインでの学習指導に対する研修・環境整備



## 今年度の学びの展開について(新型コロナウイルス感染症を受けて)

県立高等学校	県立特別支援学校	小学校、中学校 ※市町により状況は異なる
<b>授業の開始</b>		
<p>○6/1～6/7 分散登校や時差登校を行い、一つの教室に入る生徒数は20名程度。学年や学級を複数のグループ、時間帯に分けて授業を行い、席の間に可能な限り距離を確保</p> <p>○6/8～ 通常授業</p>	<p>★知肢併置特別支援学校 ○6/1～6/7 児童生徒等の障害の種類や程度等を踏まえて分散登校 ○6/8～ 通常登校</p> <p>★視覚、聴覚、病弱特別支援学校 ○6/1～ 障害の実態等に応じて、順次再開し通常授業へ移行</p> <p>★高等養護学校 高等学校の対応に準じて再開</p>	<p>○6/1～6/15 分散登校から通常登校へ段階的に実施(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登校時刻の分散</li> <li>・学年や学級を2グループに分け、登校日と家庭学習日を1日おきに設定</li> <li>・特別教室や図書室、空き教室の利用</li> <li>・指導順序の変更や、事前事後の指導と家庭学習の組み合わせによる指導計画の立案など各教科の指導計画の見直しを検討</li> </ul>
<b>休業期間の学びの保障</b>		
<p>○少なくとも、20日程度の授業を設定(長期休業期間の短縮、土曜日等の授業、時間割編成の工夫や学校行事の精選等)</p> <p>○必要に応じ、家庭学習の課題やレポートの提出等</p> <p>※5月末までの休業により授業日が31日減少</p>	<p>○各校の実情に合わせて、20日程度の授業日を設定(長期休業期間の短縮や土曜日等の授業、時間割編成の工夫や学校行事の精選等)</p> <p>※5月末までの休業により授業日が31日減少</p>	<p>○(例)夏季・冬季休業で15日分、年間を通じての取組で20日分の授業を設定(長期休業期間の短縮、土曜日等の授業、時間割編成の工夫や学校行事の精選等)</p> <p>※5月末までの休業により授業日が35日減少と想定</p>
<p>各校からの報告結果のまとめ</p> <p>○不足する授業時数補充のための授業日の設定 平均 21.6日</p> <p>夏季休業日の短縮 45校(平均16.7日)</p> <p>冬季休業日の短縮 7校(平均1.9日)</p> <p>土曜日等の授業実施 20校(平均2.8日)</p> <p>時間割編成の工夫等 34校(平均4.5日)</p> <p>例年だと、7月21日から8月31日(42日間)夏季休業日があるが、今年は、そのうち16.7日は授業日となる。(夏季休業日の設定は各高校による)</p>	<p>各校からの報告結果のまとめ</p> <p><u>夏季休業期間の設定状況</u></p> <p>○平均18.2日に短縮(授業日平均16.2日)</p> <p>・8月1日(土)～8月19日(水):1校</p> <p>・8月1日(土)～8月23日(土):5校</p> <p>・8月8日(土)～8月19日(水):1校</p> <p>・8月8日(土)～8月23日(土):8校</p> <p>※各校の児童生徒の状況に応じて、その他に、土曜日授業、冬季休業期間の短縮等で補う。</p>	<p>市町の状況のまとめ</p> <p><u>夏季休業期間の設定状況</u></p> <p>7・23(木)～8・23(日)①(小のみ1)</p> <p>7・29(水)～8・20(木)①</p> <p>8・1(土) ～8・16(日)③, ～8・17(月)②(小のみ1含) ～8・19(水)⑤(小のみ1含) ～8・20(木)②(中のみ1含), ～8・23(日)②</p> <p>8・5(水)～8・19(水)① 8・6(木)～8・18(火)①</p> <p>8・7(金)～8・18(火)①(中のみ1)</p> <p>8・8(土)～8・16(日)①(中のみ1), ～23(日)②</p> <p>※丸数字は市町数、期間中登校日を設定する学校あり。</p> <p>○夏季休業期間中に15日～18日程度を授業日に充てる計画をしている。</p>

## 今年度の学びの展開について(新型コロナウイルス感染症を受けて)

県立高等学校	県立特別支援学校	小学校、中学校 ※市町により状況は異なる
<b>学校行事の変更</b>		
<p><b>修学旅行の当初予定からの変更状況</b>  <input type="checkbox"/> 行き先や日程を変更する:33校                      令和3年度への変更も2校ある。  <input type="checkbox"/> 現時点で、中止する高校はない。</p> <p><b>海外実習の変更状況</b>  <input type="checkbox"/> 中止を決定:8校  <input type="checkbox"/> 計画変更を含め検討中:3校</p>	<p><b>修学旅行の当初予定からの変更状況</b>  <input type="checkbox"/> 一部の学部で当初の予定通り実施:4校  <input type="checkbox"/> 全部の学部で行き先や日程変更を検討:11校                      学部によって、行き先や時期が違うが、15校すべてにおいて、行き先の変更や日程の延期を検討中である。高等部2年で実施する1校は、令和3年度に変更予定である。</p>	<p><b>修学旅行の計画状況</b>  <input type="checkbox"/> 2学期以降に延期し実施予定の学校                      小学校 90校 中学校 40校  <input type="checkbox"/> 検討中または中止を決定した学校                      小学校 130校 中学校 55校</p>
<p><b>体育祭・文化祭の計画状況</b></p> <p><input type="checkbox"/> 代替行事等を含め検討している学校:13校  <input type="checkbox"/> 日程変更や規模縮小をして実施予定もしくは検討している学校:32校</p>	<p><b>運動会・体育祭の計画状況</b>  <input type="checkbox"/> 中止を決定:8校と1校(1部の学部)  <input type="checkbox"/> 規模を縮小して実施:3校  <input type="checkbox"/> 検討中:2校と1校(1部の学部)  <input type="checkbox"/> もともと実施していない:1校</p> <p><b>学習発表会・文化祭の計画状況</b>  <input type="checkbox"/> 時期を延期したり、規模を縮小して実施:10校  <input type="checkbox"/> 検討中:5校</p>	<p><b>その他、行事の計画状況</b>  <input type="checkbox"/> うみのこ…9月以降に日帰りで設定  <input type="checkbox"/> やまのこ…171校が実施予定、48校が中止を決定。(本年は宿泊はなし)  <input type="checkbox"/> チャレンジウィーク…実施予定 11校                      中止 78校 検討中 6校                      ※体育祭・文化祭は学校によって中止や延期、内容の変更等について、検討中が多数を占める。</p>
<p><b>部活動の状況</b>  <input type="checkbox"/> 6/1～部活動再開。当面は自校練習のみ。段階的に通常練習に移行。</p> <p><b>代替大会等について</b>  <input type="checkbox"/> 高体連では競技専門部(38)ごとに検討中。                      6/11までに決定の見込み。  <input type="checkbox"/> 高野連は実施予定。  <input type="checkbox"/> 全国高等学校総合文化祭はウェブで開催。</p>	<p><b>部活動の大会等について</b>  <input type="checkbox"/> 高等養護学校は高等学校に準じて実施  <input type="checkbox"/> 視覚、聴覚特別支援学校の近畿大会、全国大会については、種目によって中止や開催時期を検討中  <input type="checkbox"/> 知肢併置特別支援学校                      「夏のスポーツ交流大会」開催中止                      「冬のスポーツ交流大会」検討中</p>	<p><b>部活動の状況</b>  <input type="checkbox"/> 各市町ごとに状況は異なるが、6/初・中旬から部活動再開。当面は自校練習のみ。</p> <p><b>代替大会(締めくくりの場)について</b>  <input type="checkbox"/> 近隣の学校数校との交流戦などを検討中。                      ※6/2現在、15市町が7/中・下旬の日程で開催予定。</p>
<b>入学者選抜、入学者選考について</b>		
<p>・4月入学を前提とすれば、現状の入試日程を後に下げることが困難。                      ・例年、推薦選抜、特色選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜は2月、一般選抜の学力検査は3月に実施している。                      ・出題範囲については、各中学校の学習状況を踏まえながら対応する。                      ・7月末に基本的な配慮の考え方を公表予定。</p>		